



立花山 たちばなやま | 367m 福岡県



三日月山より立花山を望む。

福岡市街により接して立つこの山。立花山、松尾山、白岳の三峰が一つの独特な山の形としてよく目立ち、遠くからでもこの容姿が望める。市街に近いともあって近隣の人々にも愛され、気軽に登れる山でもある。

アクセス

マイカーでは国道3号線須川交差点より県道540号線に入り、案内にある立花山登山駐車場に止めて出発する。

また公共交通機関を利用して登ることも出来る。JR鹿児島本線の香椎駅や筑前新宮駅よりバスが出ていて、立花小学校前バス停や下原バス停に下車して各々のルートより登れる。

また公共交通機関を利用して立花山～三日月山まで縦走するのも良い。



レポート

立花山そして三日月山まで (登山日 2018. 12. 02)



参考コースタイム 駐車場～35分～直下分岐～45分～三日月山～35分～立花山～30分～駐車場

参考歩行時間 2時間30分

駐車場より出発。道を上がってすぐの所にはトイレもある。

案内に従い道を上がって行くと登山口に出会い、ここから登山道の上りになる。



立花山登山用駐車場



登山口

溪流の右岸の道を上がって行きくと右手に「なぎ」の大樹、そして更にその先を上がると水場に出会う。登山道はやがてガンギの急登となっていく。

溪流から離れ、南東に方角をかえると「石垣跡」の案内、その先登山道沿いに「大門楠」が現れる。

立花山はクスノキの原生林が見られることで有名で、ルート状にはさまざまなクスノキの大木に出会います。これらのクスノキの原生林は自生地北限でもあり国の天然記念物に指定されている。



水場



「石垣跡」の案内とその先に見える「大門楠」

屏風岩が側にある分岐より立花山山頂へと上がれるが、ここは山腹の東側を周ってみよう。

そぐ先分岐より先に5分ほど進むとクスノキの原生林、「立花山のクス」が現れる。

また分岐より別の道へ進むと「馬場跡」にも出会う。

山腹を回り込み山頂南側、変則十字路の分岐に出会う。下原バス停から上がってきたルートとここで出会う。

分岐からは急登を10分ほどで山頂で登れるが、南にある三日月山へ寄ってみよう。



屏風岩が側にある分岐（上）
立花山の大クス（右）



山頂南側の変則十字路分岐



三日月山縦走路

木々の中の三日月山までの縦走路。真夏の暑い日でも木陰の元を歩けるので何とも気持ちの良い道である。一旦鞍部まで下り再び上りの道。山頂直下にて下原からの道と出会い、その先を上ると三日月山頂に達する。ほぼ 360 度展望が望める山頂。標高も低いともあって眼下には福岡の市街地が凄く近くに望める。夜ともなると眼下の街の灯りは山頂まで明るく照らし、山頂一帯ではランタンの明かりが無くては明るい。



縦走路を戻り、再び立花山直下の変則十字路分岐まで帰ってきた。
ここからは山頂までのラスト急登。ここでもクスノキを見ながらの上り。
やがてひらけた城跡の立花山山頂へ登頂する。山頂は主に北側の展望が望まれ、直下の香椎浜の市街が勿論、
福岡市街や博多湾、遠く玄界灘と広範囲に望むことができる。
ここからの夜景もまた素晴らしい、街の灯り、博多湾に照り輝く様は誠に綺麗である。



南側斜面からの立花山への上り。



立花山山頂



立石山からの街の夜景

山頂からの下りは山頂北側より下り、上りの時に出合った屏風岩が側にある分岐まで下っていく。
下り途中には「古井戸」があるが、水場としては今は利用出来そうにない。
再び上ってきた道を下り駐車場のところまで戻る。

